



第21期 冬季賞与 例会レジメ

平成23年12月7日

株式会社ヘルメスシステムズ

代表取締役社長 大 中 勝 博

1. 第21期 現時点の状況 (P/L)

売上高	7,845万円 (月商 1,700 万円まで回復)
販管費等	7,369万円 (前年同期比 19.7%アップ)
営業利益	243万円 (営業利益率 3.0%)
経常利益	254万円 (前回報告の6倍に改善)
法人税等	18万円 (納税資金は十分)
当期損益	246万円 (期末迄まだ2/4行程以上有)

2. 第21期 現時点の状況 (B/S)

流動資産	1億1,534万円 (堅調に回復途中)
固定資産	1,151万円 (社内開発で増加予定)
資産合計	1億2,909万円 (期首の 3.7%減)
流動負債	658万円 (総資産の僅か 5.1%)
社 債	1,000万円 (新たに 800 万円調達)
銀行借入残	2,462万円 (期中 1,048 万円返済)
負債合計	4,125万円 (期首の 29.5%減)
資本金	1億円 (変わらず)
純資産合計	8,788万円 (自己資本比率 68.1%)

3. 冬季賞与支給

本日現在の経常利益を全て冬季賞与にあてます。それでも尚、皆様の家計は苦しいと思われますので、賞与原資と戦略的投資の資金を社債で調達しました。

従って、今回は利益を越えて冬季賞与の支給を致します。皆様にとっては十分ではないかも知れませんが、何卒ご理解をお願い致します。実質的には賞与原資の約1/3は社債による借金となりますので、下期は一層頑張ってください。賞与は12月15日に支給予定です。

4. 第21期の施策方針（改定方針を再掲）

売上目標は2億4,500万円（短期：リーマン・ショック前に回復させる）
営業を強化し利益を補強（短期：一括受託と協力会社の強化）
無借金経営を目指す（中期：借入を圧縮、私募債で補強）
人材登用と育成（中期：主任会と人材登用で企業家育成）
将来の事業に継続投資（長期：自社製品とオフショア開発の維持）

売上については、今期は何としても**2億円の大台**に乗せましょう。それは十分に可能です。営業力は既に強化しており、従来型のSESサービスの他に、一括受託の商談を進めております。売上増を目指す為に、今月以降は**中途採用**による戦力アップを計ります。

さらに来春には7名の新人を迎えますので、今から**早期戦力化**を計るべく、内定者研修担当の皆さんが、帰宅後も一定の時間を割いて教育に当たって頂いております。新しい試みをすれば、お金は掛かります。無借金経営は当然に目指しますが、小さく縮んだ営業はしませんので、当社の**資金需要は旺盛**です。

今期末には皆様の人材登用を進めます。会社は創立20周年となり**経営基盤**は整っています。20年経った中小企業では珍しいことではあるのですが、社員の皆様は十分に若いので社内に成長力があります。社長の私としては、**早く皆様に出世**して頂いて会社を繁栄・発展させて頂きたいと願っております。

来年から3ヶ月間中断した**自社製品の開発**を再開します。社内システムも改造に着手します。オフショア開発ではダナンの Unitech Technologies Corporation に今月出資することにしました。2012年の前半には、EU と中国のクラッシュを回避する為に、企業はベトナムに押し寄せると見て、この**商機に賭ける**ことにしました。

当社と Unitech 社とは「提携会社」から「戦略的パートナー会社」に関係を強化し、本日も日系企業との Big 商談の為に北島取締役と大友課長をダナンとハノイに派遣しています。**ビジネスの国際化**が更に進むことは避けられません。皆様もこれから一層忙しくなるでしょうが、よろしくお願い致します。